



このように今まで行っている事業は順調に推移していますが、10年前の設立当初に目標にしていたことで、未だ実現できてないことが1つあります。それは遅ればせながらも農産物の直売所を創りたいということでした。しかしみなさんをご存知のとおり、生目地域は農業振興地域です。都市計画法と農地法でかんじがらめにしめつけられ何もできませんでした。振興会で計画された時もできませんでした。大事な農地を守らなければならないという国の考え方、法律の意味はよく理解できるのですが、農地を規制し守るまえに耕す農民を守らなければ農地は守れません。現在、高齢化や少子化の問題もからんで耕作放棄地が増えています。地域のお年寄りや女性が中心になって農産物の加工や直売所を創ることさえできれば環境保全に繋がり、お年寄りの小遣い稼ぎや健康維持にもつながり、耕作放棄地はかなり減ってくるのかもしれない。六次産業化の問題も唱えられています。地域に1ヶ所ぐらいは行政と住民との合意の上で地域の団体とかNPOに許可してもいいのではないのでしょうか。

ところで、生目地域は国道10号線、そして主要県道が東西南北2本（西環状線、南俣宮崎線）が通っています。現在工事中の新相生橋や、拡幅中の道路や跡江交差点の高架工事も2～3年のうちに完成し供用開始されると思われます。生目地域は西インターもあり、どこへ行くにもアクセスの良い立地条件が整いつつあります。そこで提案したいのです。この跡江交差点高架下の空間に、県市の許可を得て直売所を創り、有効利用したいのです。浮田の国道10号線高架下やバイパス附近のように草に覆われたり、見苦しいゴミの投げ捨て場にならないためにも地域住民に開放していただき管理してもらえらば経費節減にもつながります。地域の関係団体とも相談しながら私達のこういう計画が可能かどうか県市のご意見もお聞きしたいとも考えています。

NPO法人スローライフ宮崎は今後も今までどおり、地域と共に生き、急がず焦らず下へ下へと根を張り、身の丈にあったことを一つ一つ地道にコツコツと自由と楽しさを求めながら事業に打ち込みたいと考えています。今後とも今まで以上のご支援ご協力をお願いし、ごあいさついたします。



8月28日 創立10周年記念式典の様子



毎月の駐車場と花壇会議の様子



NPO法人スローライフ宮崎発足10周年によせて



副理事長 横山森雄

ほんとうに早いもので生目まちづくり委員会よりNPOへ移行して10周年を迎えたということで感が深く思っているところです。

当初は理事長を中心に手さぐりで活動でしたが、地域に根ざした活動と言う基本的な考え方は今日まで一度もぶれた事はないと思っています。

NPO立ち上げ当時より、責任の重い副理事長という立場でのスタートでしたが、理事長の行動力とその他の理事あるいは会員の皆様のご協力によりスローライフ宮崎が、成長発展して来た事に心よりお礼と感謝を申し上げたいと思います。

もちろん、スローライフ宮崎にとってこれからが大切な活動になると思います。

会員の皆様のご理解と協力をいただきながら生目の杜の駐車場集金業務、花壇管理あるいは市民農園、学習田活動等を通じ地域との絆を大切にしていける様な活動を今後も展開していく必要があると思います。10周年と言う節目に私も微力ではございますが、この活動を自分のライフワークの一部ととらえ、頑張っていくつもりでございます。

今後も宜しくお願いします。

スローライフ宮崎創立10周年に寄せて



副理事長 長嶺 林

特定非営利活動法人 スローライフ宮崎 早や創立10周年を迎えることができました。

これも会員の皆様はもちろん、理事長の努力はもとより、あらゆる方々のご支援により継続できたものと感謝申し上げます。

特に駐車場業務・花壇管理業務の皆様の並々ならぬご苦勞を察する次第です。

そのほか、会員の皆様には各種ボランティア参加ありがとうございます御座います。又めがね供養祭もスローライフ宮崎に受け継がれ、めがね供養祭を行い生目地区行事とし地域を活性化発展することを願うところです。

更に、生目地区各種団体と連携・協同し生目の発展を、望んでいます。

会員の皆様並びに地域住民の方々のご協力、今以上のご支援を宜しくお願いします。

花についての回想

理事 川越 軍吉



早いものだ、10年前を振り返り思うてみるに、色々な出来事を思い浮かべて見る。

横山森雄副理事長より公園の花の水掛の仕事を依頼されたのが最初の始まりで、スローライフとの始まりともなる。その後私に公園の花の管理等を理事長より依頼され一応引き受けるも危惧が先にたち懸念するも良き人達に恵まれ、11名にて円形、ドーム東、南、北等に4月、7月、11月、花壇円形に花、9月のみコスモス、又公園の入り口の道路端には、春は菜の花、冬はコスモス、又2月になるとソフトバンク練習、球場スタンド清掃約20日間程花の乙女たちと楽しく作業に邁進しています。



理事 荻野 勇喜男

NPO法人 スローライフ10周年おめでとうございます。

私が生目の杜運動公園駐車場の料金所で徴収員として働かせて頂くようになって早いもので4年半が過ぎました。私は東京での生活を40数年過ごし宮崎市長嶺（妻の実家）に永住する事になり4ヵ月を過ぎた頃近所に生目の杜運動公園駐車場で徴収員をされておられる方の紹介で駐車場の徴収員として働き始め現在に至っております。

最初は宮崎弁が解らずに大変苦労しました。（今も理解出来ない言葉が有りますが）宮崎の方の温厚な人柄の良さで何となく勤務継続をしております。生目の杜運動公園駐車場の徴収員を行っている中で様々な出来事が有りますが、お客様との会話や触れ合いを楽しみながら心癒される事も沢山有ります。生目小学5年生の田植えや稲刈り等にも毎回参加し子供達の喜び顔が印象的です。これからも生目の杜駐車場徴収員の一人として皆様のご指導を仰ぎながらのんびりとした生活を送って行けたらと思っております。

スローライフが20周年～30周年と継続されて行くことを願っております。

スローライフと私**理事 長友 和寛**

12年前西インターチェンジをスタートする東九州高速道マラソン大会を開催しました。

高速道は開通したら2度とイベントはできません。地元の私達には利用する責任と義務があるのではないかと思います、マラソン大会が浮かびました。私も当時綾マラソン、青島太平洋マラソン等に参加していたので、その雰囲気は解かっているつもりでした。生目商工会を中心とする実行委員会をつくりました。実行委員は初めての経験であり解からない事ばかりで受付、駐車場、ランナーの集め方、手さぐり状態で一つ一つ話しあい解決していきました。当日の天気の状態に応じて対応していかなければならない。その対応の仕方について検討を重ねたので、一年間の準備が必要だった。清武ジャンクション折りかえしのハーフマラソンを中心に5k、10kの種目をつくりました。2000年3月12日大勢の観客と4200名のランナーが集まり、あとはスタートを待つだけとなり、無事終える事ができました。

なにもしなければ無、でも動けば参加者を含め多くの人に感動を与える事ができると思います。

ここからスタートしたのがスローライフ宮崎ではないかと思っています。

私にとってのスローライフ**理事 木下 和代**

私が、スローライフ宮崎の事務局でお仕事をさせて頂くようになって5年5ヶ月が経ちました。会報や決算書などの作成・・・私にできるか不安になりながらも何とか理事長はじめ皆さんの温かい励ましを頂きながら頑張ってきました。

スローライフ宮崎の事務局で仕事をするようになってから出会った方々から、料理のことなどいろいろな知識をいただき、私はこの出会いに感謝しています。我が家には、中学1年と小学5年生の男の子がいます。学校や部活、次男が入っているサッカークラブなど日々忙しく自宅では到底、スローライフ的な気持ちを持って過ごすことはできませんでした。でもこの出会いがあり、少しずつですがのびのびと子育てができるようになりました。

私が生まれ育った生目地区で仕事ができ、私自身も自己啓発できる環境で仕事が出来ている事に感謝しながら、これからも地域のために頑張っていこうと思っています。

どうぞこれからも宜しくお願い致します。頑張っていきます。

スローライフと私



理事 杉田 初男

「スローライフ宮崎」10年前 私は何の目的で誰に誘われて入会したのかも覚えていない。ただ「はんぴどん」で総会が行われ、さまざまな職種、年齢の人が大勢いたのを思い出す。NPO法人—非営利法人である事は知っていた。

しかし、「スローライフ宮崎」が具体的にどんな活動をするのかは、わからないままの参加だった。ただ参加しておけば、年を取ってから生目の杜運動公園の施設を利用させてもらいながら、清掃や草取りなどをし働けるのかな？位は期待していたのが本音である。

春になると桜につつじ、緑の芝生。この施設を利用しながら、その道の一流スポーツ選手に会える機会もあり、もう最高である。

しかし今の10年は早い。不況により行政の予算は厳しくなり、管理は指定管理となった。自分自身も仕事が増え、時間もなく、体もボロボロになってしまった。もちろん10歳も年齢を重ねた訳であるから、当たり前と言えば当たり前である。今では走りに行くこともなくなってしまった。

夢が破れたのか？ なぜか？鳥インフルエンザ、口蹄疫が宮崎に発生したから？政権交代したから？新燃岳が噴火したから？東北大震災が発生したから？消費税が上がるから？

すべて関係あるのかもしれないし、すべて関係ないのかもしれない。しかし、今ほど「スローライフ」という言葉が遠くに感じられる時はない。

ただ、今年の夏 日よけにと植えたニガゴリがたくさんなり、人にあげられる程に実った。又、ミニトマトやオクラも大収穫。私は水をやり、枯らさないように必死だった。農作業など興味のなかった妻が、朝取れ野菜を毎朝、自慢げに収穫し、食卓に並べた。そして今、ニガゴリのつるを片付けるのを見ていた妻が「今度は鍋の材料の大根でも植えようか？」と言いながら、種の袋を持っている。私は思う。妻は知っているのだろうか？今日種を蒔いても明日は芽が出ないことを！そう思いながらも、私も一緒に種を蒔く準備を始めた。そしてもうひとつ、つるあげに失敗したサツマイモの収穫が気になる。



社会起業家の卵として



理事 黒木 茂樹

先日、異業種交流会に出席した時のこと、「この世に金で買えないものがあるのか？」という話題になりました。大変驚いたのは、「金でかえないもの」を言える人が少なかったことでした。また若者から高齢者まで「どうせ、ボランティアやろが」とお金がもらえないならやるだけ損のようなお金に支配された考え方が増えている現状にも愕然としています。

月給手取り十万円ほどで生活をしている私ですが、NPO活動において「お金で買えないもの」を沢山いただいています。それは、世代を超えた人であり情であり交流であります。全く生活圏ではない生目地区での活動で、これだけのものをいただけるのは奇跡に近く、NPO活動がもたらす「人」や「心の豊かさ」という利益の巨額さに驚いています。そして、何げない日常が贅沢だと思えることも、この時代においては贅沢なことだと思います。

さて、二十周年に向けてのこれからの抱負は、地域コミュニティーの果たすべき役割の一つでもあります。お互いが支え合う地域社会づくりです。

県内外の方から、「宮崎人は人生を楽しむ天才だ！！」と言われることです。その天才発掘こそがスローライフ宮崎の仕事です。

この回転だけを求める時代にあって、自分のペースで、自分のスタイルで歩いておられる市民農園の利用者の方々、会員の皆様からもっともっと多くを学んでいきたいと考えています。